

# 池田うだつのまち歩きマップ

## 池田うだつのまち歩き

実施日:毎週土曜日(約1~2時間)  
 ※他曜日についてはお問合せください。  
 料 金:ガイド料 1人500円(保険代含む)  
 ※たばこ資料館入館料・昼食代別途  
 催行人数:2人~  
 ※団体はお問合せください。

阿波刻みたばこの生産により栄えたまちの歴史や商家の繁栄を象徴する「うだつの町並み」、酒造り(酒蔵)、生活文化など、池田ならではのまちの魅力をガイドと一緒に歩きながら楽しんでいただく、まち歩きメニューです。

実施日  
3日前の  
18:00までに  
要予約



イメージキャラクター  
うだつ姫

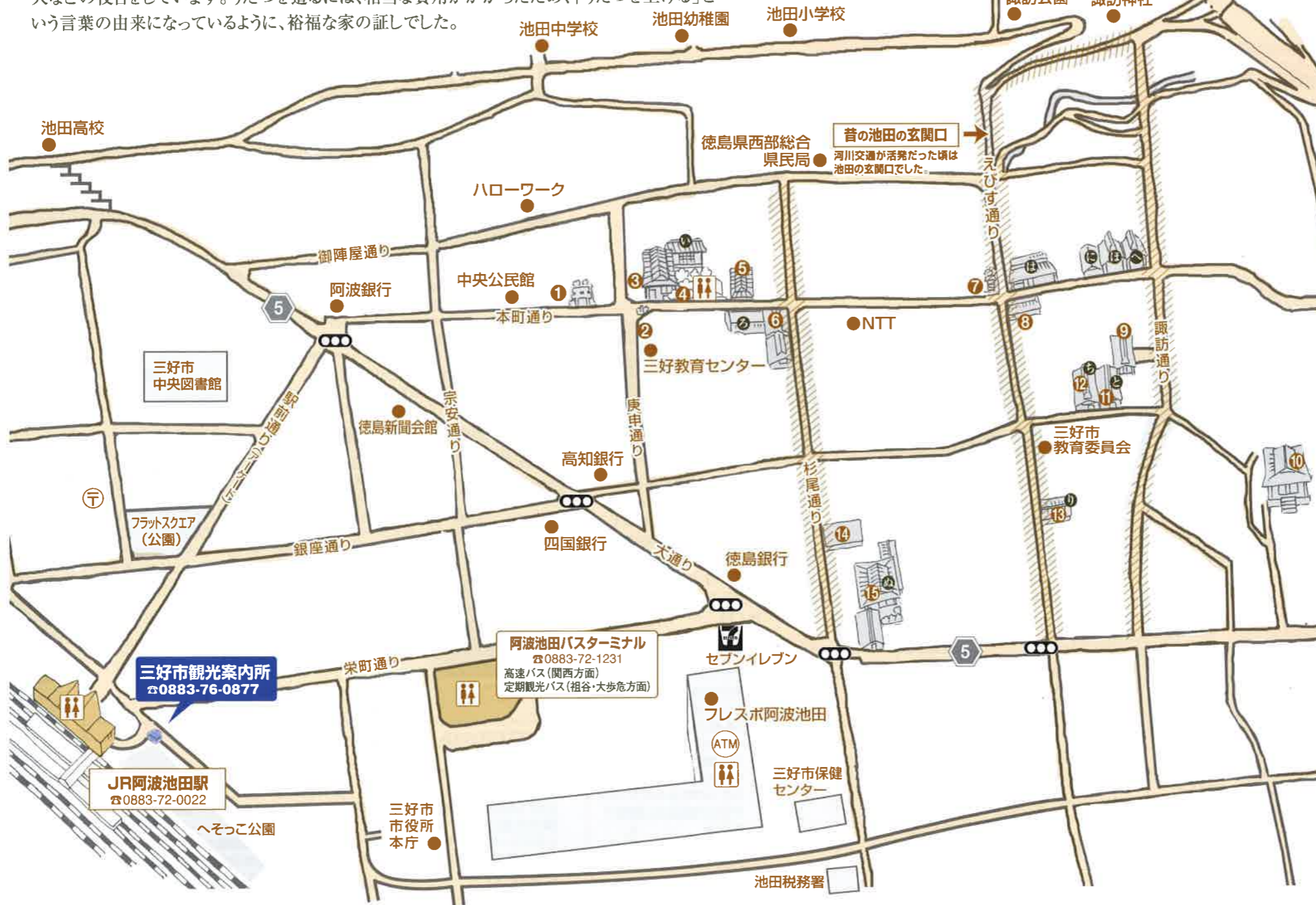
■お問合せ・ご予約 三好市観光案内所  
**TEL.0883-76-0877**

## うだつの 瓦オウツチング

- ① 真鍋家  
丸に蕨の家紋
- ② 住吉家  
亀甲に五三桐の家紋
- ③ 真野家  
松屋という屋号
- ④ 井本家  
久世橋の家紋
- ⑤ 佐藤家  
ヤマサという屋号
- ⑥ 宮本家  
龍虎の飾り
- ⑦ 亀長家  
丸に遠い丁子の家紋
- ⑧ 中村家  
大久保藤の家紋
- ⑨ 内田家  
カネマスという屋号
- ⑩ 馬宮家  
三芳菊酒造という蔵元

## 池田のたばこの歴史と「うだつ」

阿波池田は幕末から明治にかけて「阿波刻みたばこ」の生産で栄えた町です。かつて池田には約100軒の民営たばこ工場がありました。池田の町並みには、たばこ産業で繁栄した裕福な商家が競って建てた「うだつ」が多く残っています。うだつは隣家との間に造られた袖壁で、防火などの役目をしています。うだつを造るには、相当な費用がかかったため、「うだつを上げる」という言葉の由来になっているように、裕福な家の証でした。



## 池田で作られた たばこのパッケージ



【平田船】  
 吉野川を下って、たばこを運んでいました。平田船いっぱいなたばこで、蔵が一軒建ったとか。



## ① お稲荷さん

福徳開運の神様が祀られています。

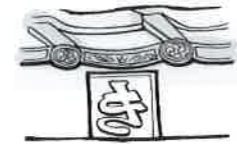


## ② 庚申さん

目の病を良くしたり、旅の安全を祈る神様です。



## ③ 軒下の「き」



屋号が「かねぎ」というたばこを巻く紙を切るのを家業としていました。現在ではイベントスペース「スペースきせる」として活用されており、様々な催しが行われています。

## ④ たばこ資料館

池田のたばこの歴史が分かる資料館。ポケットサイズのたばこの箱の原型も池田発。



☎0883-72-3450 水曜日休館

## ⑤ 故葛監督邸

池田では珍しい切妻のうだつ。隣のうだつと比べてみて。



## ⑥ まちかど資料館

ケヤキ板の節穴に注目！節がうめであるのは、良い商家の証し。現在はイベントの際に開放され、イベントスペースとして活用されています。

ここに注目！ 要予約

## ⑦ おいべっさん

商売繁盛の神様。毎年1月10日にはお祭りが開かれます。



## ⑧ 桐川家

湾曲した「むくり屋根」が特徴的。



## ⑨ 敵島神社

船の安全を祈る神様。本町通りの3つの神社と合わせると周辺には4つの神様が...



## ⑩ 医家神社

玉垣にはたばこ商人の名前が書かれています。たばこで栄えた池田の歴史が分かります。



## ⑪ 亀長家

瓦の家紋、何に見える？大根？...実は丁子(スパイスのクローブ)なんです！



## ⑫ 中村家

池田で初めて刻みたばこを製造した中村和右衛門邸。隣の亀長家とうだつの高さを比べてみて。「うだつ」を上げるという意味がわかります。



## ⑬ 内田家

14連瓦のうだつ。うだつは奥が深〜い。



## ⑭ 中和商店

大正15年に3代目「中村和右衛門」が創業した酒蔵。主な銘柄は「今小町」

☎0883-72-0126

## ⑮ 三芳菊酒造

明治22年創業の酒蔵。武家門、武家屋敷も残っています。5代目のご主人が社氏をされて、新しい日本酒造りに取り組んでいます。

☎0883-72-0053